

早いもので、本号が2013年最後の「日本内視鏡外科学会雑誌」ととなりました。振り返れば、今年も様々なニュースがありましたね。今回は、私の10大ニュースをご紹介します(10月10日現在)。

1. 盟友、山形基夫先生のご逝去：日本時間の2月1日、突然の悲報が届きました…。福岡で行われますJSES初日の11月28日午後6時から、福岡国際会議場の第8会場で、追悼セッションを予定しております。皆様、ご参加下さいませ。
2. 東京オリンピック決定：これは記憶に新しいところですが、流行語大賞になりそうな「おもてなし」をはじめ、大きな話題になりました。
3. 消費税8%へ：致し方ない事とは言え、税の使い道をきちんとして頂きたいものです。
4. 治験疑惑：治験や論文の信憑性について、襟を正さねばならない事を再認識させられました。
5. 原発汚染水問題：本当にunder controlなのか、疑問が残ります。
6. アベノミクス：私はまったく実感しておりませんが、一定の推進力はあるようです。
7. 富士山世界遺産登録：数少ない明るいニュースです。
8. 領土問題：日本の国力が下がってきた、ということでしょうか…
9. PM2.5：東日本は放射能、西日本はPM2.5…一体どこで暮らせばいいのだろう、と不安になりました。
10. 心筋梗塞：私事ながら、9月22日(日)に群馬県で趣味の乗馬をした後、胸がモヤモヤしはじめました。なんでもかあ?と、まずはガリガリ君(梨味)を食べてみました(さすが外科医!)。すると「もう1本」という当たりが出たので喜んではみたものの、症状は改善せず、一時間くらい自分で運転したところで「これは心電図をやった方がいいのでは?」と思い、たまたま目に入った病院が日曜日もやっているというので、受診しました。診断は、左冠動脈下行枝完全狭窄の心筋梗塞でした。偶然にもその病院が三次救急をやっており、循環器内科がとてもしっかりしていたおかげで、受付からステント挿入まで1時間で終了。その後10月2日まで入院し、一命を取り留めました。幸いな事に術後の心機能もほぼ正常で、個人的には、山形先生が守ってくれたものと考えております。

そんなわけで、個人的な2013年の10大ニュースを取り上げてみました。いいニュースが2つ、悪いニュースが8つ、といったところでしょうか。

さて、皆様の10大ニュースは何だったでしょう?
2014年が、皆様にとりましてよりよい年になりますよう、心より祈念申し上げます。くれぐれも、お体は大切に!お前に言われたくないよ!ですかね(笑)

(山本 学)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第18巻 第6号) 2013年11月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価：2,940円(本体2,800円+税5%)。*会員には毎号送付されます。

2013年 年間購読料：冊子版17,160円、電子版/個人17,160円、電子版/共有19,800円、冊子+電子版/個人20,160円、冊子+電子版/共有22,800円(税込)(配送料：医学書院負担)*会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会(代表：北野正剛)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階

日本コンベンションサービス株式会社内

☎03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail: jses@convention.co.jp(担当：野上)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2013, Printed in Japan

発売：(株)医学書院(代表：金原 優)(本誌担当：水野、安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23(振替口座00170-9-96693番)

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

巨脾に対する脾動脈バルーン閉塞下用手補助腹腔鏡下脾摘術緒方俊郎・他 久留米大学外科

●症例報告

肝細胞癌後縦隔リンパ節転移に対して

腹臥位胸腔鏡下腫瘍摘出術を施行した 1 例浅野智成・他 愛知県がんセンター中央病院消化器外科
虫垂切除断端に発生した虫垂粘膜嚢胞腺腫に対する

腹腔鏡補助下回盲部切除術の 1 例若田幸樹・他 国立病院機構嬉野医療センター外科
残胃 GIST に対し腹腔鏡・内視鏡合同胃局所

切除術を施行した 1 例高野公德・他 東京医科大学八王子医療センター消化器外科・移植外科
経腔的標本摘出法による完全腹腔鏡下手術を施行した

大腸癌肝転移の 1 例白石卓也・他 前橋赤十字病院消化器病センター外科
脳室-腹腔シャント留置例に対し腹腔鏡下低位前方切除術を施行した 1 例入村雄也・他 川村病院外科

●手術手技

メッシュ感染した腹壁癒痕ヘルニア症例に対する内視鏡下

component separation 法諏訪勝仁・他 東京慈恵会医科大学附属第三病院外科

十数編の掲載を予定。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。